

整形外科 臨床研修カリキュラム

研修責任者 高橋 淳

1. 研修科の特色

整形外科は運動器官を構成するすべての組織、すなわち骨、軟骨、筋、靭帯、神経などの疾病・外傷を対象とし、それらを保存的および手術的に治療する診療科であり、ほぼ全身の運動器を扱っています。治療の対象は新生児から高齢者まで全ての年齢層であり、その内容は多様で治療の必要な患者数が極めて多いのが特徴です。

2. 研修目標

一般目標 GIO

医療に対する国民の要求要望を認識し、日常診療で遭遇する運動器疾患や外傷に適切に対応し、基本的な知識、技術、コミュニケーション力などの臨床能力を身につける。

行動目標 SBO

1. 病歴を聴取し診療録に記載できる。
2. 身体所見に基づき必須の検査を指示できる。
3. 運動器疾患の基本的な診察法を実施できる。
4. 多職種からなる医療チームの一員としての役割を理解し、行動する。
5. 各疾患班の抄読会に出席し、最先端医療情報を理解する。

3. 研修方略

(研修期間が4週の場合)

1. (SB01, 3) 外来および入院患者の問診、身体所見を記載する。
2. (SB02, 4) 入院患者の手術前後オーダーを入力する。
3. (SB01, 2, 3, 4) 術前患者のプレゼンテーションを作成し、発表する。
4. (SB02, 3, 4) 術後患者のプレゼンテーションを作成する。
5. (SB04) 手術の助手を行う。
6. (SB05) 英文抄読会に参加して該当英文を和訳する。

(Advanced (4週以上) の研修の場合追加される項目)

7. 信州整形外科懇談会で症例報告を行う。
8. 手術の助手を行い、創閉鎖を担当する。
9. 抜釘術の執刀を担当する。
10. 英文抄読会で論文1編をまとめて発表する。

4. 週間予定

		月	火	水	木	金	週末
午前	下肢	手術ミーティング (7:45-8:30) 手術	病棟業務 外来	手術	リハビリカンファ (8:00-8:30) 回診 (8:30-9:00) 手術	抄読会 術前カンファレンス (7:15-8:30) 外来	
	脊椎	手術ミーティング (7:45-8:30) 回診 外来、手術、病棟業務	回診 (8:00-8:30) 病棟業務	回診 (8:00-8:30) 外来	回診 (8:00-8:30) 手術	回診 (8:00-8:30) 病棟業務	
	腫瘍	手術ミーティング (7:45-8:30) 回診、外来、病棟業務	病棟カンファ (8:00-8:15) 手術	回診(8:30-) 病棟業務	回診(8:30-) 病棟業務	回診(8:30-) 病棟業務、外来	
	上肢	手術ミーティング (7:45-8:30) 外来、病棟業務	抄読会 (7:10-8:00) 手術	回診(8:30-9:30) 病棟業務	回診(7:45-8:30) 病棟業務 外来	回診(7:45-8:30) 病棟業務	
午後	下肢	手術ミーティング 医局会 (16:30-17:15)	病棟業務	手術	手術	外来 病棟業務	
	脊椎	手術 手術ミーティング 医局会 (16:30-17:15) カルテ回診、術後回診	病棟業務	検査 (16:30) 症例検討会	手術 術後回診	検査	
	腫瘍	病棟カンファ (15:45-16:15) 手術ミーティング 医局会 (16:30-17:15)	手術 術後回診 抄読会	病棟業務 新生児検診 (15:30-16:00)	病棟業務 外来	病棟業務 回診	
	上肢	手術ミーティング 医局会 (16:30-17:15)	手術	病棟業務	病棟業務	病棟業務	
17:15 以降	下肢			術後回診	術後回診		
	脊椎						
	腫瘍				画像カンファ (18:00-20:00) 骨転移ボード (第1・3のみ 18:15-19:00) 病理カンファ (最終週のみ 18:00-19:00)		
	上肢		術後回診 手術ミーティング			術前患者診察	

※ (木) 17:30-18:00 研修医クルーズ

5. 評価

研修期間の評価

4 週以上の研修が不足なく行われていること。また、研修医は研修において経験した項目について随時 PG-EPOC に記録する必要がある。

研修中の評価

(形成的評価)

当該研修科の指導医、指導者（看護師長）は研修中に随時、形成的評価となるフィードバックを行う。

研修後の評価

研修医は、当該研修科の研修期間の最終日まで、PG-EPOC の該当項目について自己評価を行う。自己評価が終了次第、当該科の指導医、指導者（看護師長）にその旨を報告し、評価を依頼する。研修中に経験した疾病、症状について病歴要約を作成・提出し、速やかに指導医へ評価を依頼すること。

(形成的評価)

当該研修科の指導医、指導者は、研修医評価票に記載された評価を用い、フィードバックを行う。

- ・研修医評価票 I に基づく評価
指導医・指導者（看護師長）が、A-1 から A-4 の項目について評価し、印象に残るエピソードを記入する。
- ・研修医評価票 II (1-9) に基づく評価
指導医・指導者（看護師長）が、1～9 の項目について評価する。
- ・研修医評価表 III に基づく評価
指導医、指導者（看護師長）が、C-1 から C-4 の項目について評価し、印象に残るエピソードを記入する。

臨床研修評価表 I～III を基に、責任指導医は臨床研修の目標の達成度判定票を作成し、当該研修期間における目標の達成状況を判定する。

(研修科の総括的評価)

当該研修科を修了とするに不十分であると判断された場合、卒後臨床研修センター長と協議し、再履修とする。

※当科の臨床研修指導医は卒後臨床研修センターWeb サイトにて確認してください。

信州大学医学部 運動機能学教室

■住所：〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 ■電話：0263-37-2659(直通) ■FAX：0263-35-8844

■E-mail：seikei@shinshu-u.ac.jp

■URL：https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/chair/i-seikei/